

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年11月1日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年11月1日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【第二セシウム吸着装置の誤操作による自動停止について】 委託運転員が油分分離装置処理水タンクの水位調整実施中に誤操作により、運転中の第二セシウム吸着装置が自動停止。 原因は、電動弁(B)を開操作するところを誤って電動弁(A)の開操作(誤操作)を実施したことにより、第二セシウム吸着装置が自動停止(電動弁(A)開によるインターロック)した。 第二セシウム吸着装置には問題がないことを確認後、再起動して異常なしを確認。</p>	G II	10月29日
2	<p>【建屋内淡水化装置の制御空気用空気圧縮機(A)の不具合について】 建屋内淡水化装置の「制御空気用空気圧縮機(A)故障」の警報発生を確認。 空気圧縮機本体について異常がないことを確認。 電気系の不具合と推定。 今後、点検・修理予定。</p>	G III	10月26日
3	<p>【多核種除去設備の処理水貯槽12(J1-H3)水位計の指示不良について】 多核種除去設備の処理水貯槽12(J1-H3)水位計の指示不良を確認。 当該貯槽は満水であり、水移送を実施していないエリアであることから、系統への影響はない。 現場調査の結果、計器の故障と推定。 今後、水位計を交換予定。</p>	G III	10月29日
4	<p>【瓦礫類保管用コンテナ運搬作業時における固体廃棄物貯蔵庫第1棟南側のハンドホール蓋の損傷について】 瓦礫類保管用コンテナ運搬作業時に、コンテナを仮置きしていた固体廃棄物貯蔵庫第1棟南側のハンドホール蓋の損傷を確認。 現場確認の結果、ハンドホール内ケーブルについては、PHSアンテナ電源用ケーブルであり、損傷なしを確認。 原因は、耐荷重2トンのハンドホール蓋枠の際を約30トンのコンテナ運搬用フォークリフトで通行した際、ハンドホール蓋に応力が掛り損傷したと推定。(ハンドホール蓋には直接載っていない。) 現在、開口部を閉塞し、周囲をバリケードで養生済。 今後、ハンドホール蓋を交換予定。</p>	G III	10月28日
5	<p>【雑固体廃棄物焼却設備 自動倉庫(B)のCASクレーン※1異常(フォーク位置異常)警報の発生について】 雑固体廃棄物焼却設備 自動倉庫(B)のCASクレーン※1異常(フォーク位置異常)警報が発生し、クレーンの停止を確認。 今後、クレーンの点検・修理予定。</p> <p>※1: 廃棄物を格納する容器を自動で格納・取出しするための装置</p>	G III	10月29日